

キラリと光る 飛島キラ通信 第4回

学校の安心・安全を 熱く語る

今回のワークショップでは、学校の安心・安全について、防災と防犯の面から話し合いました。子どもたちをどう守るか、災害時に必要なものはなにかを、みんなで真剣に語りあいました。防災については、水害と地震の2つの災害を考えると、体育館や備蓄倉庫は2階が良く、普通教室は普段の生活を考えて配置するのが良いという意見が多く出ました。防犯については、職員室は全体が見渡せる位置が良い、地域目を守る事が重要だが、不審者を敷地に入れないようなフェンスなどを設けるといった意見が多かったようです。一方で、今の学校のように門扉をなくし、自由に入れてよいという意見もありました。学校の運用など、ソフトの部分も含めて、どんな学校にするか今後詳細をつめていきます。

今回学童の話がありましたが、これも重要なテーマですので、別の機会を設けじっくり話したいと思います。よろしくお祈りします。



第4回ワークショップ内容

2007年9月5日 19:00~21:30

参加人数: 34人 場所: 中央公民館 2階学習室

19:00 教育委員長挨拶

19:10 前回のあさらい

キラリ通信の内容確認と地域利用についてのまとめ
 19:15 学童保育について、民生部長から説明
 現在、村では学童保育を行っていないが、需要がある。そこで新しい学校の中に学童保育の施設をつくる計画をしている。施設は学童の子の家の代わりとなり、宿題をしたりくつろいだりする場所となる。他の子と交流はできるが、勝手に出入りはできない。日・祝以外は活動する。

19:30 ゾーニングについて

断面の概念図を元に様々な考え方があることを説明。また、模型によりそれぞれの案の規模と、現在の小学校・中学校と大きさを比較。まだまだ色々な可能性があることを、2階建のC案を例に説明。

質問: 2階建だとコストはあがらないか

様々な要素からコストは決まるので、一概には判断できない

特別教室の日当りが悪そう。体育館は西側が良いのでは?

悪い所を改善しながら子どもにとって一番良い案をみんなで考える

3階が本当に必要か、学年2クラス本当に必要なか

WSのなかで話し合いながら決定していく

19:55 学校の安心・安全を考える

鈴木先生から一言 19:55~

地域目を守る、敷地を守る、建物を守る、教室で守る等、様々な考え方があるが、電子的な防犯は保険で、地域目を守ることも大切だ。

グループワーク 20:00~

グループワークの結果発表 20:40~

	めがねがいっぱいチーム
災害	・水害に対して体育館は2階、教室は1階が理想 ・避難場所は普通教室、特別教室も利用・備蓄倉庫 ・非難時もプライバシーが確保できるついで
防犯	・開いてみんなを守る。地域・先生が意識する ・周囲に民家が少ないのが気になる。 ・盗撮などからプライバシーの保護が必要 ・門扉は必要ない・堀に落ちないようにフェンス設置 ・全体を見渡せる職員室・土日も遊具使えないか ・プールに来た村外の人が敷地に入らない工夫
	スクールキーパーチーム
災害	・ヘリポートや発電室が必要・体育館は2階がよい ・救急車の搬送考慮し教室、職員室は1階がよい
防犯	・地域目による防犯・見通しの良いフェンス ・1階の入口に近いところに職員室設置
	王様のアイデアチーム
災害	・一時的な避難場所・地震時の建物の中の安全性 ・2階に避難時に必要な物資と倉庫・非常用トイレ ・教室配置は防災より教科の特色、移動距離を考慮
防犯	・学校管理上外部からの進入は絶対に不可 ・地域で守る、子どもの安全を他人任せにしない ・防犯カメラ、責任者の選任・周辺施設との連携 ・マスコミを無視できないので無防備はだめ ・村祭等開放後は問題。飛島は安全とはいえない ・外来者をチェックできるよう入口は2、3箇所 ・地域ボランティア(スクールガード)を導入 ・交番を敷地の角に誘致・形が複雑だと死角が多い
	まだまだヤングチーム
災害	・体育館は2階・ヘリポート
防犯	・簡易トイレや毛布を置いておく倉庫
防犯	・監視カメラ・電子ロック・全体が見える職員室 ・周囲を囲い入口を限定する・教える防犯・水路
	21:20 次回のテーマ「学習環境を考える」(予習編) 次回ワークショップ: 9月12日19:00~

